――身近な生き物と保全②――

カエルと環境

～ツボカビのはなし～

担当：信州大学　理学部　生物科学科　　谷津伸矢・藤山静雄

環境の変化に弱いカエルたち

昔から日本にはたくさんのカエルがすんでいました。しかし、最近はあまり見かけることができなくなりました。なぜでしょう？

現在、世界中でカエルのなかまが減ってきています。カエルは皮膚がうすく、水を通してしまうので、乾いたところや、水場が汚染されると住めなくなってしまいます。

恐怖のカエルツボカビ症

ツボカビとはカビ（真菌）のなかまで、けんびきょうで見るとツボのようです。日本にももともといて、ごみなどを分解して生きています。

しかし、海外からやってきたカエルツボカビというツボカビは、カエルの皮膚にとりついて、病気にしてしまいます。この病気はたくさんのカエルを死なせてしまうことがわかっています。

カエルツボカビは、わたしたち人間がつれてきてしまった病気です。カエルたちのために、ちょっとだけ考えてみませんか。